

学習過程

個別の目標

(1年A児) …腕の力を調整し、ひもをゆっくりとたぐり寄せたり落とさないように物を運んだりすることができる。  
 (2年B児) …手足を協調させ、合図に従って静止したりゆっくりと身体を動かしたりすることができる。  
 (2年C児) …指先を使って、見本と同じようにひも通しをしたりひもを結んだりすることができる。  
 (3年D児) …手足を協調させ、ロープをたぐりながら進んだりゴムに触れないようにくぐったりすることができる。

展開	主な学習活動と 予想される児童の思考	形態	○個別の学習活動 ◎評価規準 ◇支援			
			1年A児	2年B児	2年C児	3年D児
つかむ	<p>1 あいさつをし、本時のめあてを確認する。(2分) 〔今日の修行は〇〇をしたいな。〕</p> <p>2 活動の流れや場所、ルールを確認する。(5分)</p> <p>3 めあての「わざ」を一つ自分で決めて確認する。(5分) 〔まだ成功していないから、〇〇をやってみよう。〕 〔前にもできたから、〇〇をやってみよう。〕</p>	全体	<p>めあて：自分で決めたにんじゃのわざをみがこう。</p> <p>◇興味もてるよう、丁寧に説明しておく。</p> <p>◇着席させる。離席している場合は、その場でよいこととする。</p>			
	<p>4 ウォーミングアップとして、一人ずつ順番に既習の「わざ」に取り組む。(6分)</p> <p>5 自分で決めた課題の「わざ」に取り組む。(10分) 〔〇〇をするには、ゆっくりやらないとだめだな。〕 〔難しいけれど、あきらめないで何回も練習しよう。〕</p>	個人	<p>◇「自分で決めたわざ」の決め方を「よくできる得意なわざ」「得意ではないがたくさん練習したわざ」という言葉で、「わざをみがく」を「練習する」「特訓する」という言葉で共有化する。 ◇活動の流れをスケジュールで視覚的に示し、見通しをもって安心して活動できるようにする。</p> <p>◇教師と一緒に復唱させ、自分のめあての「わざ」を確認させる。(S2)</p> <p>◇手元で視認しながら復唱させ、自分のめあての「わざ」を確認させる。(S1)</p> <p>◇手元で視認させて、自分のめあてを確認させる。</p> <p>◇めあてとする「わざ」を自分で決めさせることにより、意欲を持続させる。また、達成した時の自己肯定感や自信がより深く感じられるようにする。</p> <p><b>にんじゃのしゅぎょう</b> これがハイパーにんじゃのわざだ！(この「わざ」の中から自分のめあてを選ぶ。)                  「くものす」ゆっくりと身体を動かし、ゴムの鈴が鳴らないように通り抜けよう／「やみのトンネル」トンネルの中をゆっくりと這ってくぐりぬけよう／「はしの下」合図で止まり、棒の下を通り抜けよう                  「えだわたり」シートの上に座って、ロープをひっぱって進もう／「お茶はこひ」上に乗せたお茶がこぼれないように箱をゆっくりとひっぱろう                  「ひもむすび」両手を使ってひも結びをしよう／「ひも通し」お手本を見てひも通しをしよう</p>			
深め・広げる	<p>6 自分で決めた課題の「わざ」を含めて一連の運動を発表し、見せ合う。感想を発表する。(8分)</p>	全体	<p>◇待機場所の椅子に座らせることで、順番を意識させる。(S2)</p> <p>◇活動のルールを視覚化した掲示を読ませる。(T) ◇成功回数ではなく「わざ」に取り組んだ回数を評価する。(T) ◇難しいことは自己申告して「パス」してもよいというルールを確認する。(T)</p> <p>◇待機しているときの友達への声かけについて、肯定的な言葉の掲示物から選んで言うようにさせる。(S1)</p> <p>◇待機場所の椅子に座らせることで、落ち着いて待つように意識させる。(S1)</p>			
	<p>7 評価シートに自己評価を書き、振り返りをする。(4分) 〔今日は〇〇のわざができた。〕 〔次は〇〇に挑戦してみたい。〕</p> <p>8 あいさつをし、分担して道具を片付ける。(5分)</p>	全体	<p>◇待機場所の椅子に座らせることで、順番を意識させる。(S2)</p> <p>◇活動のルールを視覚化した掲示を読ませる。(T) ◇成功回数ではなく「わざ」に取り組んだ回数を評価する。(T) ◇難しいことは自己申告して「パス」してもよいというルールを確認する。(T)</p> <p>◇待機しているときの友達への声かけについて、肯定的な言葉の掲示物から選んで言うようにさせる。(S1)</p> <p>◇待機場所の椅子に座らせることで、落ち着いて待つように意識させる。(S1)</p>			

**特性に応じた指導・支援の工夫**  
**課題の明示【注意の持続】**  
 ・たくさんある「わざ」の中から自分で決めたものを視覚的に示し、取り組むべき課題に意識を集中させる。(S2)  
 ・「ひっぱりわざ」で物を落とした場合は、A児の考えを聞き取りながら、置き方・持ち方・力の入れ方等の落とした原因を整理していく。これにより、課題である力の入れ方を意識できるようにする。(T)

**特性に応じた指導・支援の工夫**  
**ルールの明示【意欲】【心理的な安定】**  
 ・失敗しても実質的なデメリットはないというルールを示し、安心して取り組ませる。(T)  
**即時評価【意欲】**  
 ・課題をクリアする度に評価シートによる即時評価を行い、意欲を持続させる。(S1)  
**クールダウン【心理的な安定】**  
 ・不安定になった場合は、個別スペースで過ごしてもよいことをあらかじめ伝える。(T)

**特性に応じた指導・支援の工夫**  
**具体的な指示・説明【意味理解】**  
 ・ひも通しや蝶結びの図解を場に置いて、自由に見られるようにしておき、参考にさせる。  
**スモールステップ【巧緻性】**  
 ・指先を使う「わざ」が難しい場合は、動きを細分化して示し、自分の指の動きを少しずつ確認させながら練習に取り組ませる。(S1)

**特性に応じた指導・支援の工夫**  
**モデリング【意味理解】**  
 ・たぐり寄せる動きを大きな動作のモデルで見せる。(T)  
**具体的な指示・説明【全身運動】**  
 ・動きに合わせて「右手、左手」等と声をかける。  
**場の設定【焦点化】**  
 ・パーティション等を用いて「わざ」ごとに場所を区切り、視界を狭くすることで、その場所での運動の目的を意識させる。

**学びを深めた姿**  
 ・物を落とさないという目的に即して腕や指先をゆっくりと動かしている。  
 ・自分で決めた「わざ」に意欲をもって取り組むことで、他の「わざ」にも興味をもって取り組んでいる。

**学びを深めた姿**  
 ・合図で静止するという目的に即して聞く構えをもち、止まったり動いたりする一連の動作を滑らかにしている。  
 ・自分の意志の通りに身体を動かす難しさを知り、意識して身体を動かそうとしている。

**学びを深めた姿**  
 ・小さい穴にひもを通す、結ぶという目的に即して目と手を協働させ、微細な動作を滑らかにしている。  
 ・苦手な「わざ」にも挑戦したことに自信をもっている。

**学びを深めた姿**  
 ・たぐり寄せると入れる部分と抜く部分を意識し、一連の動作を滑らかに行っている。  
 ・何度も練習に取り組んだことでその動作の難しさに気付いている。

